

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年8月8日

【四半期会計期間】 第18期第2四半期(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

【会社名】 K L a b株式会社

【英訳名】 K L a b I n c .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 真田 哲弥

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木六丁目10番1号

【電話番号】 03 - 5771 - 1100

【事務連絡者氏名】 常務取締役 高田 和幸

【最寄りの連絡場所】 東京都港区六本木六丁目10番1号

【電話番号】 03 - 5771 - 1100

【事務連絡者氏名】 常務取締役 高田 和幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第17期 第2四半期 連結累計期間	第18期 第2四半期 連結累計期間	第17期
会計期間		自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日	自 平成28年1月1日 至 平成28年12月31日
売上高	(千円)	8,879,075	10,924,642	19,599,729
経常利益又は経常損失( )	(千円)	746,199	2,185,685	830,452
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失( )	(千円)	1,342,559	1,454,989	814,124
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,348,090	1,498,099	780,950
純資産額	(千円)	8,530,039	10,675,473	9,130,804
総資産額	(千円)	10,811,052	14,533,882	12,133,520
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期(当期)純損失金額( )	(円)	36.75	39.65	22.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	38.38	-
自己資本比率	(%)	78.4	73.3	75.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	165,140	1,087,911	1,553,387
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	601,911	1,347,074	458,307
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	24,506	48,145	48,922
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	4,101,897	4,397,035	4,659,723

回次		第17期 第2四半期 連結会計期間	第18期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)	25.42	20.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第17期第2四半期連結累計期間及び第17期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失及び1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動については、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」に記載のとおりであります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成29年6月21日開催の取締役会において、株式会社アバシーの全株式を取得(以下「本件株式取得」といいます。)し、子会社化することについて決議いたしました。これに基づき、平成29年6月30日付で株式売買契約書を締結し、平成29年7月1日付で当該株式を取得しております。

また、本件株式取得に伴い、株式会社アバシーの子会社である株式会社スパイスマートが当社の孫会社になります。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」に記載のとおりであります。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間の売上高は10,924,642千円となり、前年同期比23.0%の増加となりました。これは主に、既存の主力タイトルの売上が減衰せず好調に推移したほか、6月13日に「キャプテン翼 ~たたかえドリームチーム~」をリリースしたことによるものです。

費用面では、売上原価は7,023,328千円となり、前年同期比3.9%の増加となりました。これは主に、売上増加に伴う使用料及び支払手数料が増加したことによるものです。

販売費及び一般管理費は1,932,949千円となり、前年同期比6.6%の減少となりました。これは主に、広告宣伝費及び業務委託費が減少したことによるものです。

その他、営業外収益として217,968千円を計上しました。これは主に、外貨建取引の決済時における為替相場の変動等により、為替差益175,367千円を計上したことによるものです。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10,924,642千円、営業利益1,968,364千円、経常利益2,185,685千円、親会社株主に帰属する四半期純利益1,454,989千円となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は14,533,882千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,400,362千円の増加となりました。

流動資産合計は9,103,042千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,185,325千円の増加となりました。これは主に、売掛金の増加によるものです。

固定資産合計は5,430,839千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,215,037千円の増加となりました。これは主に、無形固定資産の増加によるものです。

### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,858,409千円となり、前連結会計年度末に比べ、855,693千円の増加となりました。

流動負債合計は3,849,303千円となり、前連結会計年度末に比べ、849,522千円の増加となりました。これは主に、未払法人税等の増加によるものです。

固定負債合計は9,105千円となり、前連結会計年度末に比べ、6,171千円の増加となりました。これは主に、リース債務の増加によるものです。

### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,675,473千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,544,668千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ262,688千円減少し、4,397,035千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1,087,911千円(前年同四半期は165,140千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益2,180,207千円、前渡金の増加額1,001,765千円によるものです。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は1,347,074千円(前年同四半期は601,911千円の増加)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出1,125,316千円によるものです。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は48,145千円(前年同四半期は24,506千円の増加)となりました。これは主に、ストックオプションの行使による収入36,610千円によるものです。

## (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、110,047千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	93,618,000
計	93,618,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成29年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	38,017,700	38,029,200	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 また、単元株式数は100株となっております。
計	38,017,700	38,029,200		

(注) 提出日現在発行数には、平成29年8月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成29年4月1日～ 平成29年6月30日	53,700	38,017,700	14,948	4,590,751	14,948	4,286,506

(注) 1. 新株予約権の行使による増加であります。

2. 平成29年7月1日から平成29年7月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が11,500株、資本金及び資本準備金がそれぞれ3,457千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

平成29年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
真田 哲弥	東京都江東区	4,164,400	10.95
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2番10号	1,884,800	4.95
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6番1号	1,207,100	3.17
松井証券株式会社	東京都千代田区麹町1丁目4番地	809,900	2.13
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海1丁目8-11	694,400	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口2)	東京都中央区晴海1丁目8-11	507,800	1.33
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口1)	東京都中央区晴海1丁目8-11	489,700	1.28
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	416,400	1.09
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 株式会社三菱東京U FJ銀行)	PETERBOROUGH COURT 1 33 FLEET STREET LONDON NEC4A 2BB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	387,700	1.01
仙石 浩明	大阪府豊中市	386,000	1.01
計		10,948,200	28.79

(注) 1. 上記の他、自己株式1,070,000株(発行済株式総数に対する所有割合2.81%)を保有しておりますが、当該自己株式には議決権がないため、上記「大株主の状況」からは除外しております。

2. 所有株式数の割合の小数点第3位以下は切り捨てております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,070,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 36,942,100	369,421	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 5,600		
発行済株式総数	38,017,700		
総株主の議決権		369,421	

(注) 上記の「完全議決権株式(その他)」の欄には、「従業員持株ESOP信託」所有の株式が、185,800株(議決権の数1,858個)含まれております。

【自己株式等】

平成29年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) K L a b 株式会社	東京都港区六本木6丁目10-1	1,070,000		1,070,000	2.81
計		1,070,000		1,070,000	2.81

(注) 上記の他、四半期連結財務諸表において自己株式として認識している当社株式は185,800株であります。これは、「従業員持株ESOP信託」が保有する当社株式であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,660,962	4,397,035
売掛金	2,120,551	2,616,662
その他	1,136,600	2,089,787
貸倒引当金	396	442
流動資産合計	7,917,717	9,103,042
固定資産		
有形固定資産	301,618	276,277
無形固定資産		
のれん	1,724	925
その他	1,279,723	2,213,501
無形固定資産合計	1,281,448	2,214,427
投資その他の資産		
投資有価証券	1,323,414	1,639,327
その他	1,338,408	1,306,760
貸倒引当金	29,087	5,953
投資その他の資産合計	2,632,735	2,940,134
固定資産合計	4,215,802	5,430,839
資産合計	12,133,520	14,533,882
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,309,807	1,559,434
賞与引当金	92,422	97,831
未払法人税等	17,370	734,337
その他	1,580,181	1,457,699
流動負債合計	2,999,781	3,849,303
固定負債		
その他	2,934	9,105
固定負債合計	2,934	9,105
負債合計	3,002,715	3,858,409
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,572,322	4,590,751
資本剰余金	4,268,078	4,286,506
利益剰余金	1,083,879	2,538,869
自己株式	836,477	824,417
株主資本合計	9,087,803	10,591,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,439	70,441
為替換算調整勘定	24,212	6,598
その他の包括利益累計額合計	22,772	63,843
新株予約権	20,227	19,920
純資産合計	9,130,804	10,675,473
負債純資産合計	12,133,520	14,533,882

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	8,879,075	10,924,642
売上原価	6,758,346	7,023,328
売上総利益	2,120,728	3,901,314
販売費及び一般管理費	1 2,069,647	1 1,932,949
営業利益	51,081	1,968,364
営業外収益		
受取利息	14,904	15,505
受取配当金	4,132	6,932
持分法による投資利益	-	4,048
為替差益	-	175,367
その他	24,992	16,113
営業外収益合計	44,029	217,968
営業外費用		
支払利息	1,634	315
持分法による投資損失	6,142	-
為替差損	752,374	-
自己株式取得費用	113	239
その他	81,045	92
営業外費用合計	841,310	647
経常利益又は経常損失( )	746,199	2,185,685
特別利益		
関係会社株式売却益	-	11,871
その他	648	61
特別利益合計	648	11,932
特別損失		
減損損失	757,700	-
固定資産除却損	11,673	17,410
その他	98,361	-
特別損失合計	867,735	17,410
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,613,286	2,180,207
法人税等	273,000	723,962
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,340,285	1,456,244
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,273	1,255
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	1,342,559	1,454,989

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	1,340,285	1,456,244
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	86,356	69,430
為替換算調整勘定	114,476	30,026
持分法適用会社に対する持分相当額	35,924	2,450
その他の包括利益合計	7,804	41,854
四半期包括利益	1,348,090	1,498,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,344,982	1,496,059
非支配株主に係る四半期包括利益	3,107	2,039

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	1,613,286	2,180,207
減価償却費	422,130	195,199
のれん償却額	10,837	766
関係会社株式売却損益( は益)	-	11,871
減損損失	757,700	-
固定資産除却損	11,673	17,410
その他の特別損益( は益)	98,361	-
貸倒引当金の増減額( は減少)	46	23,084
賞与引当金の増減額( は減少)	3,467	5,409
受取利息	14,904	15,505
受取配当金	4,132	6,932
支払利息	1,634	315
為替差損益( は益)	709,699	58,880
自己新株予約権消却益	648	61
持分法による投資損益( は益)	6,142	4,048
売上債権の増減額( は増加)	539,273	497,880
前渡金の増減額( は増加)	23,154	1,001,765
仕入債務の増減額( は減少)	22,650	256,570
未払金の増減額( は減少)	480,315	45,676
その他	128,109	112,960
小計	365,282	1,086,325
利息及び配当金の受取額	31,063	23,070
利息の支払額	1,690	350
法人税等の支払額	229,514	21,134
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,140	1,087,911
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の償還による収入	1,130,200	-
投資有価証券の取得による支出	-	252,347
その他の関係会社有価証券の払込による支出	125,000	-
有形固定資産の取得による支出	6,136	14,471
無形固定資産の取得による支出	386,394	1,125,316
敷金及び保証金の差入による支出	63,885	61,456
敷金及び保証金の回収による収入	30,044	11,327
定期預金の払戻による収入	5,584	-
貸付金の回収による収入	17,500	101,674
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	6,471
その他	-	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	601,911	1,347,074
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	366	1,139
長期借入金の返済による支出	15,000	15,000
ストックオプションの行使による収入	18,441	36,610
自己株式の売却による収入	11,960	27,674
新株予約権の発行による収入	9,471	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,506	48,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	333,153	51,670
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	458,405	262,688
現金及び現金同等物の期首残高	3,627,096	4,659,723
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	16,394	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,101,897	1 4,397,035



【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	
(連結の範囲の重要な変更)	
KLab Cyscorpions, Inc.につきましては、当第2四半期連結会計期間において全ての株式を売却したため、連結の範囲から除外しております。	

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	
税金費用の計算	税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。	

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
広告宣伝費	782,216千円	738,325千円
給与手当及び賞与	431,812千円	324,074千円
賞与引当金繰入額	26,976千円	24,896千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
現金及び預金	4,103,046千円	4,397,035千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,149千円	-千円
現金及び現金同等物	4,101,897千円	4,397,035千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計 (注)2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	8,842,216	36,859	8,879,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	8,842,216	36,859	8,879,075
セグメント利益又は損失( )	2,124,141	3,413	2,120,728

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェア等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において757,700千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計 (注)2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	10,901,420	23,221	10,924,642
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	10,901,420	23,221	10,924,642
セグメント利益又は損失( )	3,904,172	2,858	3,901,314

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	36円75銭	39円65銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額又は 親会社株主に帰属する四半期純損失金額( )(千円)	1,342,559	1,454,989
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額又は親会社株主に帰属する 四半期純損失金額( )(千円)	1,342,559	1,454,989
普通株式の期中平均株式数(株)	36,529,141	36,694,825
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	38円38銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	1,212,542
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 り四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったもの の概要	-	-

- (注) 1. 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。
2. 1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第2四半期連結累計期間249,625株、当第2四半期連結累計期間201,243株であります。
3. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、平成29年6月21日開催の取締役会において、株式会社アバシーの全株式を取得(以下「本件株式取得」といいます。)し、子会社化することについて決議いたしました。これに基づき、平成29年6月30日付で株式売買契約書を締結し、平成29年7月1日付で当該株式を取得しております。

また、本件株式取得に伴い、株式会社アバシーの子会社である株式会社スパイスマートが当社の孫会社になります。

1 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社アバシー
事業の内容	子会社の経営管理等
被取得企業の名称	株式会社スパイスマート
事業の内容	ゲーム内運用に関するリサーチ業務及びコンサルティング業務

(2) 企業結合を行った主な理由

モバイルオンラインゲーム市場はスマートフォンの普及に伴い急速に拡大してきましたが、近年は競争が激化してきており、このような市場環境における事業者にとって、収益の拡大・維持のため、ゲームシステムやゲーム内運用施策等の情報収集・分析の重要性がますます高まっています。日本以外の中華圏や東アジア圏においても同様の市場動勢となってきました。

こうした環境の中、スパイスマートは、高品質な分析情報を提供することでクライアント数を急激に増やし事業を拡大してきました。

今回の同社株式の取得、完全子会社化により、スパイスマートは当社が持つリソースを活用し、Sp!cemartの開発体制及び営業体制を強化し、より付加価値の高い情報を、より多くのクライアントに提供することが可能になります。

また、世界的にも競争が激化する中、中華圏の事業者による日本でのゲームリリース、あるいはゲーム化IP獲得のための日本のアニメ等への投資といった日中間のインバウンドやアウトバウンドの動きが活発化してきています。

スパイスマートはこのような動きに対し、いち早く対応し、日本・中華圏でのゲーム事業に関するインバウンド・アウトバウンドのサポートを手掛けてきましたが、提供できるサービスが限定的であり、越境事業者のニーズに十分応えきれていませんでした。

このような市場環境において、スパイスマートの日中におけるネットワークと当社のリソースを掛け合わせることで、上記ニーズに応えることが可能となり、更なる事業拡大が可能と考え、株式の取得に至りました。

(3) 企業結合日

平成29年7月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

名称に変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,000,000千円
取得原価		1,000,000千円

3 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 1,801千円

4 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では、確定していません。

5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では、確定していません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 8 月 8 日

K L a b株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 由 良 知 久 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 唐 澤 正 幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているK L a b株式会社の平成29年1月1日から平成29年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日から平成29年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、K L a b株式会社及び連結子会社の平成29年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。